

2022年11月22日

報道関係者各位

慶應義塾大学

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)が自然エネルギー大学リーグに加盟 —2030年までのカーボンニュートラル達成を目指します—

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（神奈川県藤沢市遠藤）は、大学自らが地球温暖化対策に率先して取り組むとともに、持続可能な社会づくりの人材育成を進めることとし、カーボンニュートラル^{※1}の早期達成を目指して自然エネルギー大学リーグ（代表世話人 原科幸彦 千葉商科大学学長）に加盟しました。

2030年を目標年として、省エネルギーの徹底や再生可能エネルギーの導入など、自然エネルギー100%を達成するための対策を実行していきます。また、自然エネルギー大学リーグにおいて、目標を共有する他大学との連携を強化していきます。

1. 自然エネルギー大学リーグについて

2021年6月に発足した「自然エネルギー大学リーグ」では、日本政府の2050年カーボンニュートラル宣言に一步先んじて、各加盟大学（キャンパス）は、2030年から2040年までを目途として、自らが定める時期までに自然エネルギー100%の電力を生産または調達する目標を掲げ、実行していくこととしています。

自然エネルギー大学リーグ Web サイト <https://www.re-u-league.org/>

2. 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスの加入や目標について

慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスは、大学自らが地球温暖化対策に率先して取り組むとともに、持続可能な社会づくりの人材育成を進めることとし、カーボンニュートラルの早期達成を目指して「自然エネルギー大学リーグ」に加盟しました。

自然エネルギー大学リーグへの加盟については、11月20日にSFCで開催された研究活動成果を公開するイベント「オープンリサーチフォーラム（ORF）」にて一ノ瀬友博環境情報学部長から発表されました。

一ノ瀬学部長は、「カーボンニュートラルは、気候変動のみならず、生物多様性や資源循環といった環境問題とも密接に関係しており、統合的なアプローチが求められている。その過程では、キャンパスに関わるあらゆる人々を巻き込こんで、議論を活発化させ、より良いキャンパスづくりも同時に達成していきたい。」と抱負を述べました。



一ノ瀬友博環境情報学部長
(ORFセッションにて)

同キャンパスでは、2030年を目標年として掲げ、省エネルギーの徹底や再生可能エネルギーの導入など、自然エネルギー100%を達成するための対策を実行していきます。また、「自然エネルギー大学リーグ」において、目標を共有する他大学との連携を強化していきます。

3. 参考情報

本件に関して、塚原沙智子准教授（環境情報学部）が藤沢市民講座で講演を行います（藤沢市以外の方も参加可能）。

https://www.sfc.keio.ac.jp/about_sfc/extended_education/open_lectures.html

2022年度藤沢市民講座 第3回「藤沢市で取り組むカーボンニュートラル」

【講師】塚原 沙智子（環境情報学部 准教授）

【日時】12月4日（日）13:00～15:00（講演90分＋質疑応答時間30分）

【会場】オンライン配信

【問合せ】湘南藤沢事務室 総務担当 TEL：0466-49-3404

E-mail：somu@sfc.keio.ac.jp

<用語説明>

※1 カーボンニュートラルとは、2050年までに二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすること（人為的な排出量を植林、森林管理などによる吸収量で差し引いて、実質的にゼロにすること）を意味します。

※本プレスリリースは、文部科学記者会、藤沢市記者会、各社社会部等に配信しております。

・本件についてのお問い合わせ先

慶應義塾大学環境情報学部 准教授 塚原 沙智子（つかはら さちこ）

E-mail：tukahara@sfc.keio.ac.jp

・本リリースの配信元

慶應義塾広報室（唐）

TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

Email：m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/ja/>